

GLP(全球陸域研究計画)と持続可能社会の構築ーセッション趣旨説明と提案

Global Land Programme and Regional/Global Sustainability

*氷見山 幸夫¹

*Yukio Himiyama¹

1. 北海道教育大学名誉教授

1. Emeritus Professor, Hokkaido University of Education

平成29年10月16日、日本学術会議講堂で日本学術会議公開シンポジウム「GLP(全球陸域研究計画)の推進と国連持続可能な開発目標(SDGs)への貢献」が開催された。これはGLP (Global Land Project, 全球陸域研究計画) のこれまでの研究成果を広く紹介し、関連する諸領域との連携により更に発展させるために実施されたものである。GLPはFuture Earthが提起する8つの大きな課題群 (Key Focal Challenges) いずれとも、とりわけ課題1「すべての人に水、エネルギー、食料を」及び課題5「持続可能な農村開発を」と深く関わっている。また国連の「持続可能な開発目標」SDGsのいずれとも、とりわけ開発目標11「持続可能な都市と地域」及び開発目標15「陸域の生命」と深く関わっている。本セッションは、国際的な見地からこのシンポジウムをフォローアップし、学際的な共同研究プロジェクトの形で具体化し推進することを目指すものであり、本発表はその趣旨を説明し、プロジェクトを提案することを目的とする。

キーワード：国際陸域研究計画、フューチャー・アース、持続可能な開発目標、持続可能性

Keywords: Global Land Programme, Future Earth, Sustainable Development Goals, Sustainability